

2018年度第2回マルパ研修会

美術がもたらす「心」への作用

講演者 慶應義塾大学文学部教授
川畑 秀明 氏



日時 2018年11月17日(土)
14:00~15:45

会場 神奈川県立近代美術館
葉山・講堂

講演内容 超高齢化社会では、健康寿命を高めるためには医学的治療の発展だけでなく予防的観点が必要になるとともに、精神的健康を高めるためのアプローチが必要とされています。本講演では、美術鑑賞がどのように「心」の働きに作用するのか、特に高齢者における精神的幸福感や認知能力への作用について、講演者らの最近の美術鑑賞プログラム開発を含めお話ししていきます。また、感性教育や子どもたちの能力開発としての利用法についても触れます。

主催 (公財) かながわ国際交流財団 / 神奈川県立近代美術館

講演者略歴 (川畑秀明/かわばた・ひであき)

1974年鹿児島県生まれ。2001年、九州大学大学院人間環境学研究所博士課程修了。博士(人間環境学)。日本学術振興会特別研究員、ロンドン大学神経学研究所研究員、鹿児島大学准教授を経て、現在、慶應義塾大学文学部教授。専門は感性心理学、神経美学。主著『脳は美をどう感じるか—アートの脳科学』(ちくま新書)

- 【参加費】 無料 【募集人数】 70名
【申込方法】 メールに氏名、所属、住所、メールアドレス等をご記入の上、件名を「マルパ第2回研修会申込み」としてお申し込みください(先着順)
※募集人数を超えた場合には、申込みをお断わりさせていただくことがあります
【申込先】 メール: mulpa@kifjp.org 【申込締切】 11月14日(水)
【問合せ】 TEL 046-855-1821 (公財) かながわ国際交流財団 野呂田
【会場案内】 神奈川県立近代美術館 葉山 神奈川県三浦郡葉山町一色 2208-1 (046-875-2800)
URL: <http://www.moma.pref.kanagawa.jp/hayama/visit/access>

マルパとは

(公財) かながわ国際交流財団のよびかけで、神奈川県内の4つの美術館の館長・学芸員と芸術祭連携団体の実行委員等が集まり、2016年度に立ち上げられたアートプロジェクトです。MULPAとはMuseum UnLearning Program for Allの頭文字を取った略称で、日本語では「みんなで“まなびほぐす”美術館—社会を包む教育普及事業—」としています。マルパは定住外国人や障がいを持つ方々を含む「すべての地域住民」の、美術館へのアクセスを目的として、地域の美術館が芸術祭や大学と連携して包摂的な教育普及事業を検討・展開していきます。<http://www.kifjp.org/mulpa/>

MULPA マルパ
Museum UnLearning Program for All
みんなで“まなびほぐす”美術館—社会を包む教育普及事業—